

2015

4月号

念仏のこころに生きる生活を

高岡教区

# 教区報

## 《二〇一四年度定期教区会執務方針》

教務所長 西岡孝了

小職も当地に着任いたしましたして一年が経ちました。教区の宗務を推進する上で、いつも心温まるご支援・ご指導をいただき眞に有難うございます。

私どもは、平素より、阿弥陀さまの大慈大悲の中にあつて、本願を信じ念佛申さば仏になる、とお教え頂いております。共にその仏になる道を歩む者にとりましては、いつの時代にあつても、その時代・社会に即応した教学の振興が求められ、ご法義の繁昌、寺院の護持発展と教線の拡充が宗門の使命であり、関わる者としての責務となっております。

いま、宗門を取り巻く状況、時代に対する認識については、昨年、宗門の法灯を継承された、専如ご門主のご消息にお示し頂いておる通りでございます。いずれの時代・環境にあつたとしても、わたくしども、宗門の一員としての取り組みの方向性は、宗門の基本法規であります「宗法」に規定されておりますように、

浄土真宗の教義をひろめ、法要儀式を行い、僧侶、寺族、門徒、信徒その他の者を教化育成し、自他共に心豊かに生きることの出来る社会の実現に貢献することを目的とする。

内に向かつてのご法義繁昌と人材育成に留まることなく、宗門を取り巻く社会に対し、阿弥陀さまのご本願がはたしているこの現場において、公共の立場から、大いなる責任を果たしていかねばならないものであります。

さて、宗門にとりましては、昨年六月、第二十五代の専如門

主が法灯を継承され新しいご門主のもと、この混沌とした先行きが不透明な時代に、浄土真宗のみ教えが広まるように、その取り組みの扉が開かれました。いま、「法統継承に際しての消息」の意を体した、来るべき伝灯奉告法要、親鸞聖人御誕生八五〇年記念法要と立教開宗八〇〇年記念法要の修行を視野に入れた新しい長期計画が策定されようとしております。私共も、これを機に宗門に関わる一人として、それぞれの場で、この時代に即応していける態勢を整えねばなりません。

そういう中、宗派においては、先に開催された第三〇八回定期宗会において、平成二十七年年度の「宗務の基本方針」として「伝灯奉告法要に向けて つなげる・つたえる・ささえる」を掲げ、それを基本とした八項目の執務に係る柱を立てたことでございます。

そして、宗派の進めております「御同朋の社会をめざす運動（実践運動）」については、平成二十四年度からの取り組みを総括し、このたび平成二十七年年度から二十九年度における「総合基本計画・重点プロジェクト」が策定され、スローガン「結ぶ絆から、広がるご縁へ」のもと、「自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現」に向けた取り組みの推進を図るものがございます。

宗派の方針をより具体的に、この風土の中で表現してゆくのが、教区の役割であります。このたび、当高岡教区におきましては、実践運動「御同朋の社会をめざす運動」推進の教区委員会において、平成二十七年年度の推進計画を策定いただきました。新年度に入りまして、具体的に冊子に纏め、

裏面へ続く

ご提示させて頂きますが、平成二十六年年度の推進計画を基本とし、推進して参りますが、六項目の基本方針の中、「これまでの運動を継承しつつ、新たな枠組みに関する検討を進める」について、その具体的項目として、従来の「組織・研修・事業」に「財政」を加え、総合的な検討を行うことといたしました。

また、具体的な重点施策については、「第二期同朋運動推進者養成研修会の開催に向けた準備を進める」こと、「真宗の本来化に向け、教団の組織のあり方の検討を始める」ことが追加されました。

また、「平和・ヤスク二問題への取り組みの強化」については本年が「戦後七十年」という節目になることから、その点に着眼した内容とすること、「聖典に学び、門信徒と共に伝道する活動を進める」においては平成二十六年年度休止しておりました「聖典セミナー」「仏教入門講座」の実施」や「教区所属組織をささえる基盤の点検を通じて活動の見直しと整備を継続する」では、「新たな活動と次世代への働きかけ」に関し、「少年教化実態調査（仮称）の実施」を踏まえての取り組みを推進することといたしました。また、「運動推進態勢強化の焦点」では、今回実施されました宗派の「第一〇回宗勢基本調査の報告を基にした」内容とすることとなりました。

以上の運動計画を基本とし、教区予算の編成にあたったことであります。加えて申しますと、先ほど、教区の実践運動推進計画の中で、「真宗の本来化に向け、教団の組織のあり方の検討を始める」ことが追加されたことを申しましたが、ご案内のとおり、この教区の中には、財政上の問題を中心として、解決しなければならぬ多くの問題があります。私は、教区の教務所長、本願寺福光教堂の主管、高岡教区教学財団の理事長、そして清光学園の理事長を拜命しておりますように、それらに関わる問題は、教区の皆さま方が同じ土俵で語らねばならないことであると認識しております。その手がかりとして、私案ではございますが、小職の諮問的な会議体を持たせて頂き、それぞれの立場におられる方々が同じテーブルに着き、問題を共有していただく、

教区を横断する形での議論の場を持たして頂きたい、と考えております。僭越ながら、私どもの問題を解決するのは、いや解決出来るのは私ども自身である、と存じます。その視点に立つて、その議論を踏まえ、それぞれの機関が、それ以外にも教区として抱えている問題の解決に向け、教区全体が有機的に動いていけるよう、具体的に取り組んで行きたいと考えておることとございます。即座に解決できる問題は一つとしてありませんが、教区内の英知と熱意を集め、解決への着実な歩みを始めたいと考えております。

以上、粗略ではございますが、私どもの執務方針とさせていただきます。

### 二〇一四（平成二六）年度定期教区会のご報告

去る三月二十七日（金）に平成二十六年度高岡教区定期教区会が開催され、平成二十七年年度一般会計予算を含む財務議決案十件と法規議案一件が慎重審議の上、原案承認・可決されました。

その後、財団関係各種会計予算並びに宗会の報告がされました。

平成二十七年年度一般会計予算について

教区の一一般会計の歳入では、教区賦課金が前年度より三十九万六千の減額となつていますが、これは教区賦課金の減免によるものです。過年度賦課金は、氷見西組長光寺過年度未納金分です。教務所事務補助金では、教務所長の給与・賞与の増額分を見込んでおります。各種助成金では、今年度当教区担当により「ブロック仏青研修会」「ブロック仏青連絡協議会」が開催されるため増額となっておりますが、昨年度担当して開催した「ブロック少年連盟指導者研修会・連絡協議会」の各開催助成金が削除されたことや、在家免物の取り扱いが縮小していることに伴う委託事務費を減額としているため、全体としては減額となっております。願記手数料や雑収入は昨年度実績による減額となっております。

次に歳出については、まず実践運動推進費で新たな取り組みである教材専門委員会主催による講座開催経費を見込んでおりますが、組巡回が実施されないためその経費を削除していることや、千鳥ヶ淵法要経費を今年度実績によって減額とすることから、全体としては減額となっております。次に各種助成費では、今年度開催される「ブロック仏青連絡協議会・仏青研修会」への助成金を見込んでおりますが、昨年度担当して開催した「中部・北陸仏教婦人会大会」「北陸ブロック講師研修会」「ブロック少年連盟指導者研修会・連絡協議会」への助成金分が削除となっているため減額となっております。教務所費では、人件費で職員給与等の自然増を見込んでおります。また、諸会議費では、寺院振興対策委員会や公聴会の開催経費を見込んでの増額としております。教学財団に対する支出については、教区会計の厳しい財政状況を鑑み昨年度の半額助成としております。

#### 平成二十七年教区特別会計予算

「平衡資金積立」「教化資料作成費」会計で、前年度中の教区一般会計への回金により前年度積立金が減となっております。「転退職」「災害対策費」会計は前年度とほぼ同様となっておりますが、「キッズサンガ推進費」では研修開催を見込んで研修費を若干増額させていただきました。

#### 法規議案

寺院振興対策委員会の設置規則が施行されていますが、その委員の任期の調整をするための「高岡教区寺院振興対策委員会委員の任期の調整に関する区令案」と、宗務調査委員会の教区休会中に委員の異動があったときの選任方法を規定に加えるため、「高岡教区宗務調査研究委員会に関する規則の一部を変更する区令案」を上程し、賛成多数で可決されました。

#### 教学財団関係

去る三月二十三日(月)に財団理事・評議員会が開催され、平成二十七年度行事計画案と予算案の審議が行われました。今年度は昨年度休止してたセミナーが再開され、その経費について収入・支出ともに経常しております。また収入にお

いて、賛助会費の増額を見込んで増額としておりますが、教区一般会計からの回金が百万円減額となっております。

支出では教学研究室に依頼し調査・編集がとり行われていた教学財団百年誌の印刷経費を見込んでの委託費を増とさせていただきます。

各種予算書を別紙に同封しておりますのでご覧下さい。



### ～ 人事のご報告 ～

4月1日付で金山教照さん(射水組蓮照寺衆徒)が、本山宗務所より出向、高岡教区教務所主事として着任されました。

教区内の皆様におかれましては、今後ともよろしく願いいたします。



## 『東日本大震災追悼法要』が勤修される

以降何度  
も福島に

去る三月十一日、西本願寺高岡会館に於いて東日本大震災追悼法要が勤修され、僧侶・門信徒百名余りが参列した。

震災が起きてから四回目の法要となる今回は、震災発生時刻の午後二時四十六分より開式。各組出勤法中による正信偈のお勤めの中、教区役職者・僧侶・門信徒が焼香し、被災地に思いを馳せた。

正信偈のお勤めの後、「『あの日』を忘れ、『絆』を断ち切る覚悟 福島で学んだこと」をテーマに、フリージャーナリストとして放射能汚染やそれに伴う様々な問題の実態を取材しておられる花田真司氏（島根県出雲市 メディアファーム代表）による講演があった。（写真）



震災発生時に島根県に避難してきた方が記者会見で、「またふるさとに帰れる日が来るといいですね」という問いかけに対し、「いいや、もう帰りたくない」と答えたことに衝撃を受けた花田氏は、

「被災した方は想像を絶する体験をしており、あの日を忘れない」と願っている人も多い」ことを挙げられ、その心情も知らずに、外部の無関係の人間が、三月十一日が近づくと「『あの日』を忘れない」と言い出すことの欺瞞性を指摘。

「『あの日』という言葉は、問題を過去のものとして認識させ、今もなおそこにある苦悩の現実を見えなくさせている」と述べられ、『絆』『復興』『風評被害』という言葉も、様々な矛盾や危険性に対して声を挙げることを許さない同調圧力として働いている面があると指摘された。

その上で、誰かの思惑が込められたキーワードやキャッチフレーズに流されて、何となくのイメージ

足を運ぶようになったという経緯を述べられ、取材映像を元に、スローガンのように叫ばれる『復興』『絆』という言葉と、現地の実態の乖離についてお話しされた。



## 前進座特別講演のお知らせ

『如月の華』 一九條武子ものがたりー

6月24日（水）高岡市文化ホールにて前進座特別講演「如月の華」一九條武子ものがたりーが上演されます。

ご観劇料金は、6千円（全席自由）。午後2時に開演～午後4時45分に終演となります。チケットは高岡教務所並びに、各組長事務所にて販売を致しておりますので、お買い求めください。皆様におかれましては、この機会にぜひ、観劇くださいますようご案内申し上げます。

で判断するのではなく、自分の言葉・自分の頭で考えることが最初の出発点であるとし、「子どもたちや自分自身の明日に責任があるのは他でもない私達自身なのでから」と呼び掛けた。



## 御同朋の社会をめざす運動の「コーナー」

### 組巡回からの課題

高岡教区委員会が隔年で実施しています実践運動推進組巡回が、昨年六月よりスタート、ようやく先月までに全ての組を回ることが出来ました。今回はテーマを「新『過去帳』取扱基準と新『差別事件 糾明のための方途』からの学び」として、「門信徒の個人情報と新『差別事件 糾明のための方途』からの学び」として、「門信徒の個人情報と新『差別事件 糾明のための方途』からの学び」という課題を住職、寺族、門徒それぞれが自らの問題として確認頂くことを目的に実施されたことです。

既に十三年度に「過去帳又はこれに類する帳簿の開示問題」（三年前にNHKの番組で本派寺院の過去帳に類する帳簿が映され全国放送された問題）を各組で学んで頂いていますが、今回はその後の対応とさらに寺院の日常における情報管理の問題と人権に関わる課題を確認頂くことを企図しました。

全組を回る中で、様々なご意見やご質問を頂きましたが、少しこの機会にご紹介いたします。

まず、ご門徒の参加者からは、今回、過去帳というものを初めて知った、「私たちの様々な個人情報や寺院内にあることが判った」、「僧侶は門徒の情報を私物化し勝手に開示しないように問題意識を持って欲しい」と言った声が多く上がりました。現実に興信所などによる身元調査が横行している現状からは、僧侶に寺院の役割や課題を深く自覚してもらいたいという重要な問題提起であったと思われます。

また僧侶の参加者からは、「帳簿以外にも墓地や境内にも様々な情報がある」、「身元調査ではない行政機関による調査や『ルーツ捜し』にはどう応じればよいか?」、「普段の法務や法話のなかでも、個人情報を漏らされて不快に思われる門徒さんがいるのではないか?」、「ご門徒のご家庭のことをより理解

したいと備忘録や現在帳を付けているがいけないのでしょうか?」といった具体的なご質問も多く寄せられました。僧侶が様々な場面で情報を求められることについては、まずこの『取扱基準』の内容をよく理解して頂くこと、そして、情報の管理や開示について人権問題に直結する課題であることを認識して頂いたと思います。また、今回の改定によって、中央において社会部（人権担当）が所管する事も確認頂きました。

いくつかの組で「懇志を納めた個人名や金額、住所などを紙や木札に書いて本堂や境内に掲示するのは問題ではありませんか?」、「寺報や本堂など誰でも目にする事が出来る所で故人の命日や住所などの情報が出るのはどうでしょうか?」と言った声が上がりました。これらの具体的事象は単に「アウトか?セーフか?」と答えを求めるのではなく、「その情報を目にした人がどう思うのか?」また、「一人でも悲しむ人がいるのではないか?」という想像力が求められる事、人権意識が問われる事です。これらはまだ一部の声であり問題意識ではありませんが、提起頂いたことを教区内、ひいては教団全体の課題に繋げていくことが重要だと感じました。

今回の組巡回では、トータルで住職二二三名、坊守十七名、衆徒二二三名、門信徒六十六名のご参加を頂きました。寺院ということでは一五七寺からのご参加で、その参加率は五十三%でした。全寺院からの参加を目指していたとは言え、決して少なくない数字といえます。今後は、そこから浮き上がった課題をさらに共有化し、具体的な取り組みに繋がられるよう準備を進めなくてはなりません。

【高岡教区教区主幹 浜野信宏】

これからの日程 ( 4 / 2 0 ~ 5 / 2 1 )

4月		
20		
21	北陸司馬連加街街務議会議総会	
	教区コーラス練習日	
22	長寿苑ビハーラ活動	
23	常備会 世界仏婦大会説明会 聖典セミナー ( 1 回目 )	
24	寺院女性会連盟総会	
25	寺族青年会総会	
27	マスク二問題専門委員会	
28	仏婦連盟総会 仏教青年会総会 ビハーラ執行部会	
5月		
7	骨董市 ( ~ 8 ) 雨晴苑ビハーラ活動	
11	教区委研修会 ( ~ 1 2 )	
12	富山仏教学会例会	
14	常例法座	
17	氷見西組長福寺法要	
21	聖典セミナー ( 2 回目 )	

ラジオ放送 ~ 西本願寺の時間 ~

『みほとけとともに』

北日本放送 ( K N B ) ・ 7 3 8 kHz.  
毎週土曜日 ( 本山制作 ) 午前 6:15 ~ 6:25  
第 2 ・ 4 日曜日 ( 富山・高岡制作 ) 午前 6:00 ~ 6:10

4 / 12 ( 日 ) : 安達 秀憲 氏 ( 高岡教区・空泉寺 )

4 / 18 ( 土 ) : 玉木 興慈 氏 ( 龍谷大学教授 )

「それでも生きよう」

4 / 25 ( 土 ) : 玉木 興慈 氏 ( 龍谷大学教授 )

「死を迎えること」

4 / 26 ( 日 ) : 林 史樹 氏 ( 高岡教区・要願寺 )

5 / 2 ( 土 ) : 玉木 興慈 氏 ( 龍谷大学教授 )

「生きていくこと死んでゆくこと」

5 / 9 ( 土 ) : 葛野 洋明 氏 ( 龍谷大学教授 )

「立って待っててくださった阿弥陀さま」

5 / 10 ( 日 ) : 未 定 ( 富山教区 )

5 / 16 ( 土 ) : 葛野 洋明 氏 ( 龍谷大学教授 )

「阿弥陀さまの呼び名」

【西本願寺高岡会館5月の常例法座】

ご講師：菅 生 哲 陽 師

( 東北教区・妙頓寺 )

ご講題：『親鸞様のみ教え～南無阿弥陀仏  
をご本尊とされる意味～』

午後 1 時 2 0 分頃からビデオ上映、2 時から  
お正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘い  
あわせてお参りください。

お知らせ

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱 ( 175 袋 ) 8 , 3 0 0 円

・大 箱 ( 36 袋 ) 2 , 3 0 0 円

・1 組 ( 10 袋 ) 5 0 0 円

お申込み先は・・・〒933 - 0003 高岡市能町 1 2 9 8

耳浦 康真 ( 本誓寺 ) Tel. & Fax. ( 0766 ) 23 - 9822

編集後記


新年度に入り、新しい環境に変わられた方も多いことだと思います。ある調査研究会社によると、今年の新人社員は「消せるボールペン型」だそうです。“見かけはありきたりなボールペンのように見えても自由に書き換えができるので変化に対応できるが、不用意に熱を入れる（熱血指導する）と、色（個性）が消えてしまったり、使い勝手の良さから酷使しすぎると、インクが切れてしまつ（離職してしまつ）。”とのこと。

また、入社時の誓約書や同意書に「消せるボールペン」で書く新人社員がいたとの情報もあります。消せることによつて様々な用途に使い便利である反面、その便利さゆえに、色が消える等の問題もあるのだと思います。

ちなみに、「過去を消せるボールペン」があったら今すぐ購入し、過去を消したいと思う・・・担当のつばきです。

本年度もよろしくお願ひ致します。

これからの日程 ( 4 / 2 0 ~ 5 / 2 1 )

4月		
20		
21	北陸司馬連加街街務議会議総会	
	教区コーラス練習日	
22	長寿苑ビハーラ活動	
23	常備会 世界仏婦大会説明会 聖典セミナー ( 1 回目 )	
24	寺院女性会連盟総会	
25	寺族青年会総会	
27	ヤスクニ問題専門委員会	
28	仏婦連盟総会 仏教青年会総会 ビハーラ執行部会	
5月		
7	骨董市 ( ~ 8 ) 雨晴苑ビハーラ活動	
11	教区委研修会 ( ~ 1 2 )	
12	富山仏教学会例会	
14	常例法座	
17	氷見西組長福寺法要	
21	聖典セミナー ( 2 回目 )	

ラジオ放送 ~ 西本願寺の時間 ~

『みほとけとともに』

北日本放送 ( K N B ) ・ 7 3 8 kHz.  
毎週土曜日 ( 本山制作 ) 午前 6:15 ~ 6:25  
第 2 ・ 4 日曜日 ( 富山・高岡制作 ) 午前 6:00 ~ 6:10

4 / 12 ( 日 ) : 安達 秀憲 氏 ( 高岡教区・空泉寺 )

4 / 18 ( 土 ) : 玉木 興慈 氏 ( 龍谷大学教授 )

「それでも生きよう」

4 / 25 ( 土 ) : 玉木 興慈 氏 ( 龍谷大学教授 )

「死を迎えること」

4 / 26 ( 日 ) : 林 史樹 氏 ( 高岡教区・要願寺 )

5 / 2 ( 土 ) : 玉木 興慈 氏 ( 龍谷大学教授 )

「生きていくこと死んでゆくこと」

5 / 9 ( 土 ) : 葛野 洋明 氏 ( 龍谷大学教授 )

「立って待っててくださった阿弥陀さま」

5 / 10 ( 日 ) : 未 定 ( 富山教区 )

5 / 16 ( 土 ) : 葛野 洋明 氏 ( 龍谷大学教授 )

「阿弥陀さまの呼び名」

【西本願寺高岡会館5月の常例法座】

ご講師：菅 生 哲 陽 師

( 東北教区・妙頓寺 )

ご講題：『親鸞様のみ教え～南無阿弥陀仏  
をご本尊とされる意味～』

午後 1 時 2 0 分頃からビデオ上映、2 時から  
お正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘い  
あわせてお参りください。

お知らせ

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱 ( 175 袋 ) 8 , 3 0 0 円

・大 箱 ( 36 袋 ) 2 , 3 0 0 円

・1 組 ( 10 袋 ) 5 0 0 円

お申込み先は・・・〒933 - 0003 高岡市能町 1 2 9 8

耳浦 康真 ( 本誓寺 ) Tel. & Fax. ( 0766 ) 23 - 9822

編集後記

新年度に入り、新しい環境に変わられた方も多いことだと思います。ある調査研究会社によると、今年の新人社員は「消せるボールペン型」だそうです。「見かけはありきたりなボールペンのように見えても自由に書き換えができるので変化に対応できるが、不用意に熱を入れる ( 熱血指導する ) と、色 ( 個性 ) が消えてしまったり、使い勝手の良さから酷使しすぎると、インクが切れてしまつ ( 離職してしまつ ) 」とのこと。

また、入社時の誓約書や同意書に「消せるボールペン」で書く新人社員がいたとの情報もあります。消せることによつて様々な用途に使い便利である反面、その便利さゆえに、色が消える等の問題もあるのだと思います。

ちなみに、「過去を消せるボールペン」があったら今すぐ購入し、過去を消したいと思う・・・担当のつばきです。

本年度もよろしくお願ひ致します。